

枕草子「春はあけぼの」テスト対策練習問題と過去問まとめ②

年	組	番	名前
---	---	---	----

次の「枕草子」の原文を読んで問いに答えなさい。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこし明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

夏は夜。月の頃はさらなり。闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るも、をかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥の寝所へ行くとして、三つ四つ、二つ三つなど、飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などの連ねたるが、いと小さく見ゆるは、いとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。

冬はつとめて。雪の降りたるは言ふべきにもあらず。霜のいと白きも、またさらでも、いと寒きに、火など急ぎおこして、炭持て渡るもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになりて、わろし。

問1 「ほのかにうち光りて行く」とあるが、その主語を本文より抜き出して答えなさい。

問2 「をかし」を現代仮名遣いに直しなさい。

問3 「雨など降るも、をかし」に込められている作者の考えとして正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

ア：本来は良くないものだが、螢が飛ぶ中の雨は風情がある

イ：螢が飛ぶ中、雨までもが降るとさらに風情が増す

ウ：螢が飛ぶのも風情があるが、雨が降ることも負けていないくらい風情がある

エ：螢が飛ぶ中雨まで降るとは、とても面白い



問4 「鳥」の読みを現代仮名遣い（ひらがな）で答えなさい。

問5 「あはれ」を現代仮名遣いに直しなさい。

問6 「まいて雁などの」とあるが、何に対して「まいて」と言っているのか。本文より抜き出して答えなさい。

問7 「雁などの連ねたる」の「の」の用法として正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：主格
- イ：連体修飾格
- ウ：同格
- エ：体言の代用

問8 「風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず」とあるが、その理由を説明している次の文のうち、正しいものを選びなさい。

- ア：風の音や虫の音などは、こまかく言うほどの値打ちはないから
- イ：当時は風の音や虫の音については言うことが良いとされていないから
- ウ：風の音や虫の音などはすでに秋の風物詩なので、言うまでもないから
- エ：風の音や虫の音についてまで言うのは趣がないから

問9 「虫の音」の読みを現代仮名遣いで答えなさい。



問10 「はた言ふべきにあらず」の意味として正しいものを次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：ちっとも言うことができない
- イ：まったく言ってはならない
- ウ：また言うわけがない
- エ：また言いようもない

問11 「はた言ふべきにあらず」の「べき」の文法的意味として正しいものを選び、○で囲みなさい。

- ア：意志の助動詞「べし」の連体形
- イ：可能の助動詞「べし」の連体形
- ウ：当然の助動詞「べし」の連体形
- エ：命令の助動詞「べし」の連体形

問12 「つとめて」の「枕草子」の中で使われている意味を次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：早朝
- イ：寒さ
- ウ：努力
- エ：仕事

問13 「また、さらでも」の「さ」は何を指しているのか。次の中から正しいものを選び、○で囲みなさい。

- ア：雪が降ること
- イ：早朝であること
- ウ：霜がとても白くおること
- エ：とても寒いこと



問14 「つきづきし」の「枕草子」の中で使われている意味を次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：いつもどおりだ
- イ：めんどくさい
- ウ：大変だ
- エ：ふさわしい

問15 「ぬるくゆるびもていけば」とあるが、なにが「ぬるくゆるびもていく」のか。次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：朝の早さ
- イ：雪
- ウ：霜の白さ
- エ：寒さ

問16 「火桶」の読みを現代仮名遣いで答えなさい。

問17 作者が「良くない」と思っているものを、次の中から選び、○で囲みなさい。

- ア：夏の月夜に雨が降る事
- イ：烏がねぐらへと飛び急ぐ様子
- ウ：とても寒い日に火などをおこすこと
- エ：火鉢の火に白い灰が多くなること

問18 「春はあけぼの」「夏は夜」「秋は夕暮れ」「冬はつとめて」に使われている表現技法を答えなさい。



枕草子「春はあけぼの」テスト対策練習問題と過去問まとめ②（解答）

問1 蛍

問2 おかし

問3 ア

問4 からす

問5 あわれ

問6 烏

問7 ウ

【解説】「雁で、どんな雁かという、連なって飛んでいる雁が」となり、「雁」と、「連なって飛んでいる雁」が同じものを表している

問8 ウ

問9 むしのね

問10 エ

問11 ウ

問12 ア



問 | 3 ウ

問 | 4 エ

問 | 5 エ

問 | 6 ひおけ

問 | 7 エ

問 | 8 体言止め

